

ビハーラ活動者養成課程

ビハーラ活動者養成課程【社会福祉学科対象】

(1) ビハーラ活動とは

ビハーラ (Vihara) とは、サンスクリット語で「休息の場所」「僧院」「寺院」などという意味のほか、「安住」と漢訳されており、「存立する」「身も心も安んじる」などの意味もあります。

ビハーラ活動は、病院や施設であるいは家庭で病床に伏す人々（患者）及びその家族・知人などの関係者がもつ様々な悩みに対して、宗教者としてそれを和らげ、人間としての尊厳を保ちつつ生きられるよう、精神的介護を行うものです。それがビハーラ活動者の役割でもあります。

(2) ビハーラ活動者の認定について

本学部において所定の科目の単位を修得し卒業した者に対して、課程修了認定書が与えられます。

(3) 修了要件

修了要件は、必修科目 16 単位を含めて 26 単位以上です。

(4) 資格取得のための開講科目と単位は次のとおりです。

ビハーラ活動者養成課程カリキュラム

系列	所定の教科目		本学部開講の教科目				
	科目名	時間	科目名	期間	単位	備考	
ビハーラ活動の本質・目的の理解に関する科目	真宗教義	5	ビハーラ活動論	必修	半年	2	専攻科目
	宗門における運動の理解	3					
	ビハーラ活動	2					
	仏教福祉と援助技術	3	仏教福祉論	必修	半年	2	専攻科目
	医療と保健と福祉の法律	2	社会保障論	選択	通年	4	専攻科目
	老人福祉の基礎知識	3	高齢者福祉論	選択	半年	2	専攻科目
	障害者福祉の基礎知識	2	障害者福祉論	選択	半年	2	専攻科目
ビハーラ活動の対象の理解に関する科目	患者・高齢者・障害者の心理	3	高齢者・障害者の心理	必修	半年	2	専攻科目
	医療の基礎知識	3	医学概論	選択	半年	2	専攻科目
			精神保健	選択	半年	2	専攻科目
			臨床心理学	選択	通年	4	専攻科目
法の理解に関する科目	ビハーラ活動の理解と実践	7	ビハーラ活動内容総論	必修	半年	2	専攻科目
	カウンセリングの基礎理解	3	カウンセリング基礎論	必修	通年	4	専攻科目
	介護の基礎知識	3	介護概論	必修	半年	2	専攻科目
基礎技能	基本介護技術	10	介護技術演習	必修	半年	1	専攻科目
	カウンセリング実習	10	カウンセリング基礎論	必修	通年	4	専攻科目
	レクリエーション実技	3	スポーツ文化ⅡB (レクリエーション・スポーツ)	選択	通年	2	共通科目
	ビハーラ法話の基本	3	ビハーラ活動内容総論	必修	半年	2	専攻科目
実習	支援の方法 (実習の事前・事後研修を含む)	4	ビハーラ活動実習	必修	集中	2	専攻科目

「ビハーラ活動実習」は、「ビハーラ活動論」「ビハーラ活動内容総論」「カウンセリング基礎論」「介護概論」の単位修得者のみ履修することができます。但し、これらの4科目と「ビハーラ活動実習」とを同一年度に履修登録し、並行して受講することを認めます。また実習に際しては、特別実習費として一定額を徴収することがあります。